

自殺予防の取組

～教職員一人一人が子供の心の危機の叫びを捉える～

1 特集について

都内の児童・生徒が、自らの命を絶つといった事案が複数発生しています。いかなる理由であれ、子供が自らの命を絶つことはあってはならないことであり、子供の健全な育成を目的とする学校教育にとって、子供の自殺は最大の悲しみです。

各学校においては、全ての児童・生徒を対象とした自殺予防教育に取り組むことや自殺の危険が高まった児童・生徒への個別支援を組織的に行うことが大切です。特に夏季休業日前に、児童・生徒が悩みを抱えたときに助けを求める、身近な大人がそれを受け止めることを目的とした「SOSの出し方に関する教育」を確実に実施することが求められます。

本特集では、児童・生徒の自殺の実態及び自殺の危険が高まった児童・生徒への関わりについて紹介します。

2 紙面の活用について

児童・生徒の自殺の**原因・動機**などについて、**知る**ことができます。

自殺の危険が高まった児童・生徒への**組織的な行い方**を理解できます。

自殺直前に**心の危機の叫び**として**発せられるサイン**の例について**確認**できます。

「SOSの出し方に関する教育」の情報を**確認**できます。

御意見
ください

所報「たまじむ」において、多摩地区の学校及び市町村教育委員会のニーズに応える特集を予定しております。つきましては、特集内容に関する**御意見**をいただきたく、御協力をお願いいたします。



特集アンケート

もっと
詳しく
知りたい

<二次元コード（読み取り or クリック）から、
本特集及び過去の所報の**解説動画**が視聴可能>



解説動画



本特集及び過去の
所報解説動画

自殺予防の取組～教職員一人一人が子供の心の危機の叫びを捉える～

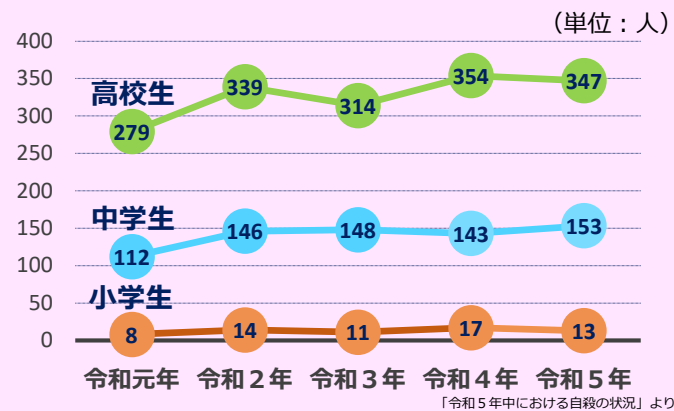


過去の所報
「たまじむ」

自殺は、専門家といえども一人で抱えることができないほど重く、かつ、困難な問題です。学校では、全ての児童・生徒を対象にした自殺予防教育に取り組むことや、自殺の危険の高まった児童・生徒への個別支援を組織的に行うことが求められます。本特集では、児童・生徒の自殺の実態及び自殺の危険が高まった児童・生徒への関わりについて紹介します。

児童・生徒の自殺の実態

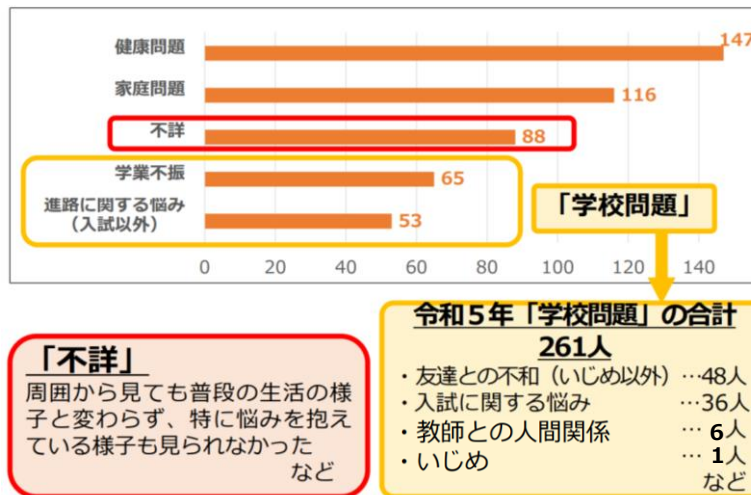
児童・生徒の自殺者数の年次推移



10代の死亡原因の第1位が自殺

18歳以下の自殺は、**長期休業明けの時期に増加**する傾向にある。

児童・生徒の自殺の原因・動機上位5項目（令和5年）



警察庁自殺統計原簿データより厚生労働省が作成した表を改変
令和6年度 第2回 生活指導担当指導主事連絡会資料より

自殺は、様々な問題等が複雑に絡み合っているところへ、**直接の動機となる事柄が引き金となって生じる。**

一人一人の子供の状況を把握し、小さな変化を見逃さない

自殺直前に心の危機の叫びとして発せられるサイン（例）

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 成績が急に落ちる | 自傷行為が深刻化する |
| 関心があったことに興味を失う | 引きこもりがちになる |
| 投げやりな態度が目立つ | 身体の不調を訴える |
| 身だしなみを気にしない | 家出や放浪をする |
| 自分より年下の子供や動物を虐待する | 自殺についての文章を書いたり、絵を描いたりする |

「大丈夫」など**表面的な言動**に捉われない。

児童・生徒の日常をしっかりと見て、違和感を覚えたときにはすぐに情報共有すること

自殺の危険が高まった児童・生徒への関わり



管理職に！
学年に！

共有！



特定の教職員で抱え込まない！

「気付く」

一人一人の子供の状況を把握し、小さな変化を見逃さない



- 学級担任等による、日常のコミュニケーションや観察
- アンケートによる状況把握

「共有する」

自殺の危険に気付いたとき

★ 児童・生徒の声をしっかりと傾聴

気に掛かる様子が見られたときの言葉（例）

- ・どうしましたか？
- ・なんだか最近辛そうだけど
- ・何か元気ないけど大丈夫？
- ・何か力になれることはない？
- ・よければ心配なことを話してくれませんか…など



★ スクールカウンセラーとの連携

当該の子供が教員には相談することを躊躇している状況が見られる場合等には、当該の子供をスクールカウンセラーの面談につなげる。



★ 保護者・地域関係機関、医療機関との連携

精神疾患に罹患することは誰にも起こり得るという認識で対応する。

学校と医療機関
の役割の違いを
理解する



「SOSの出し方に関する教育」 （※夏季休業日前に確実に実施）

児童・生徒

「**不安や悩みに早期に気づき、SOSを出す力**」を向上

教職員

「**子供のSOSを受け止め、支援する力**」を向上

